

## 支援方針

子どもたちが自信や達成感を持って自立した生活が送れることを目指し、ご家族様と共にお子様の成長にしっかりと向き合い、充実かつ安定的な療育基盤をすることによって効果的な発達支援を提供していきます。事業所だけで療育を完結するのではなく、ご家庭と連携しお子様の成長を共に考え、日常生活への汎化ができるように、継続的なご利用とご家族の協力体制の構築をお願いしています。

支援  
プログラム

: 個別支援



: 集団支援

- ・健康観察・報告
- ・日常生活動作訓練（食事・排泄・更衣）
- ・生活習慣（整容・準備・片付け）



健康・生活

- ・日常生活動作訓練（座位、立位保持・歩行・移動）
- ・感覚統合（聴覚・前庭覚・固有覚・触覚・視覚）
- ・屋外遊び



運動・感覚

- ・学習支援（記銘・計算・時間管理・金銭管理）
- ・TEACCH
- ・NCプログラム
- ・コグトレ



認知・行動

- ・学習支援（言語理解・読み書き）
- ・コミュニケーション支援（表出・指示理解・応答）
- ・PECS

言語  
コミュニケーション

- ・SST（挨拶・感情理解・対人関係・ルール理解）
- ・実行機能向上訓練（役割・お手伝い）

人間関係  
社会性

## 家族支援

- ・家庭や事業所にて面談や参観の機会を設け、特性や関わり方等、療育支援方法を伝えるとともに、ご家庭での様子を聞き取り、情報共有を行いながら、心配事や発達課題について共に考えていきます。

## 移行支援

- ・教育、医療、福祉等と関係機関との連携を図りながら進級、進学時における支援の連続性の確保をしていきます。

## 地域支援・地域連携

- ・学校や関係機関と連携し、地域の社会資源を積極的に活用し、遊びや体験、交流の場を広げることができるように担当者会議や事業所間連携、支援会議、自立支援協議会への積極的な参加や環境調整を行います。



## 主な行事等

- ・各種安全指導・避難訓練（1回↑/月）
- ・季節の行事創作
- ・近隣商店街への買い物や外食
- ・ポーリング



## 職員の質の向上

- ・事業所内ミーティング（1回↑/月）
- ・支援内容共有化のためのグループLINE利用
- ・事業所内研修（1回↑/月）
- ・外部研修受講支援



## 児童多機能型事業所プラス・スタイル



9:00 ~ 17:30



児童発達支援：原則無し / 放課後等デイサービス：学校→事業所